

家畜衛生情報

青森県の養鶏農場で 高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜確認 (今シーズン国内19例目)

【農場概要】

所在地 青森県上北郡横浜町(4月に入って2例目)
飼養状況 肉用鶏(約11万羽)

【経緯】

4月14日 当該農場から死亡羽数増加の通報を受け
立入検査→簡易検査陽性
4月15日 遺伝子検査の結果、
高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認

<野鳥や小動物での鳥インフルエンザウイルス確認も続いています！>
陽性事例71例のうち37例がハシブトガラス(北海道・岩手県)
キタキツネ・タヌキ(ハシブトガラスの回収地点付近)でも検出
さらに15例のハシブトガラスで遺伝子検査実施中 (4月14日現在)

●異状の早期発見・早期通報

- ・飼養衛生管理マニュアルを活用して通報ルールを従業員も含め再確認を
- ・死亡数増などの異状が認められた場合は家保に直ちに通報して下さい

●野生動物対策

- ・防鳥ネット、鶏舎の破損はないか定期確認、すぐに修繕を
- ・小動物の隠れ処になるような草むらや資材の撤去

●人・物・車両によるウイルス持込防止

- ・雨で流れた消石灰の再散布

異状があれば、直ちに家畜保健衛生所に連絡を！

中央家畜保健衛生所

電話番号 : 058-201-0530

時間外・夜間・休日 : 090-7024-5269

